

同窓会講演会

今年度で3回目となる同窓会主催の講演会では、テレビ・ラジオ・講演活動に加え、がん知識の普及や医療啓発活動など多方面で活躍されているフリーアナウンサーの笠井信輔さんを講師にお迎えし、「人を見るということ ～がんステージ4からの生還～」をテーマにご講演いただきました。

講演では、笠井さんがこれまでの人生で看護師に支えられてきた経験を振り返りながら、带状疱疹の発症、大学時代の入院、そしてがん闘病の日々など、実体験に基づくエピソードを交えてお話しくださしました。どのような場面で助けられ、どんな気づきを得たのか、看護師との交流がどれほど心の支えとなったのかを丁寧に語られ、患者にとって看護師の姿勢や心遣いが「希望」や「安心」につながることに深い感謝の思いが伝えられました。今回の講演を通して、私たち看護師が日々の何気ない関わりによって、患者さんにとって大きな支えになっていることを改めて実感する講演会となりました。

なお、本講演会は対面とオンライン（Zoom）によるハイブリッド方式で開催し、多くの皆さまにご参加いただきました。ご参加くださいました皆さまに、心より御礼申し上げます。

同窓会では今後も、同窓生の皆さまが「つながり」を感じられる機会を大切に、より多くの方に参加していただける企画を実施してまいります。



決算報告 令和6年度 三重県立看護大学同窓会決算

収入の部 (単位:円)			
項目	予算額	収入済額	備考
1 入会金等	1,200,000	446,000	令和5年度卒業生24名分加入金等
2 雑入	200	1,401	預金利子
3 繰越金	13,193,171	13,193,171	
収入合計	14,393,371	13,640,572	

支出の部 (単位:円)			
項目	予算額	支出済額	備考
1 事業費	1,550,000	1,320,469	総会案内状、会報誌郵送代、講演会費用、卒業記念品
2 一般管理	485,000	251,975	委託費用(名簿、住所管理費、ホームページ管理費等)、税理士契約料
3 支部活動費	140,000	21,660	クラス会開催 支援金
4 予備費	100,000	0	
5 繰越金	12,118,371	12,046,468	
支出合計	14,393,371	13,640,572	
差引残高	12,046,468		次年度へ繰越

同窓会役員 令和7年度 執行部役員

役職	氏名	期生
会長	岡根 利津	大学第2期
副会長	乾 明菜	大学第6期
	荒木 直人	大学第9期
会計	米倉 一美	短大第7期
	桑原 久美子	大学第5期
監事	信太 照美	大学第2期
	稲垣 志芳	大学第16期
理事	河合 富美子	短大第2期
	大平 肇子	短大第7期
	山野 恵律子	大学第5期
	太田 美佳	短大第20期
	長谷川 実佳	短大第20期

クラス会支援

同窓生相互の親睦を深める活動の一環として、クラス会の開催支援を行っています。支援内容は、同窓会加入者一人あたり500円の開催支援金の給付です。交付条件には、事前に申請が必要であることや、出席者が5名以上であること、ホームページ及び会報誌へのクラス会開催に関する掲載に同意することなどがあります。

詳しくは、同窓会ホームページをご覧ください。

かがやき

会報
第17号

発行 三重県立看護大学同窓会

514-0116 三重県津市夢が丘 1-1-1 e-mail: dousokai@mcn.ac.jp

令和8年6月発行



<http://dosokai.link/mcndousokai/>



Contents

- 同窓会役員より…②
- 学長挨拶……………②
- 卒業生を追う……③
- 総会報告……………③
- 活動報告……………③
- 同窓会講演会…④
- 決算報告……………④
- 同窓会役員……④
- クラス会支援…④



同窓会役員より

卒業生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

同窓会執行部役員の5期生桑原久美子です。

役員として、長く活動を続けていますが、いつも大学を訪れるたびに、大学時代の様々な思い出がよみがえり、懐かしさを感じています。

同窓会では、毎年、総会や講演会を行っています。遠方にお住まいの方、会場まで足を運ぶことがむずかしい方にも参加していただけるよう、オンラインでの参加も可能となっています。講演会に参加された方からは、満足度の高い感想を多くいただいております。

同窓会では、会員同士の親睦を深めること、つながりを感じられるような場を提供することを継続していきたいと思っております。今後の同窓会活動に関して、皆さまのご支援、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。また、ぜひ、皆さまのご意見・ご要望などお寄せ下さい。

三重県立看護大学同窓会 会計 桑原 久美子



学長挨拶

このたび4月より、三重県立看護大学の学長を拝命いたしました吉沢豊子でございます。同窓会「かがやき」の皆様に、このような形でご挨拶させていただけますことを、大変うれしく、心より感謝申し上げます。三重県は初めての地ではありますが、私の中では、親しみやすさと心地よさを実感し、三重県立看護大学のために尽力したいという気持ちで夢を膨らませているところです。

本学はこれまで、地域に根ざしながら多くの看護職を社会へ送り出してまいりました。その歩みを支えてこられたのは、各地でご活躍されている同窓生の皆様の存在にほかなりません。日々の実践の中で人に寄り添い、それぞれの場で役割を果たしておられる皆様に、深い敬意を抱いております。

さて、2027年には開学30周年という節目を迎えます。これまでの歴史を大切に受け継ぎながら、次の時代へと歩を進める大切な機会であると感じております。この節目の年を、同窓生の皆様とともに祝い、そして新たな一歩へとつなげていきたいと考えております。これからの看護には、専門性を大切にしながらも、人と人とのつながりをより丁寧に紡いでいく力が求められます。本学におきましても、学生一人ひとりの学びを大切に、地域とともに歩む大学であり続けたいと思っております。そして、同窓会の皆様と手を携えながら、本学のさらなる発展に向けて、ともに歩んでまいりたいと願っております。「かがやき」という名前のお通り、皆様お一人おひとりの歩みがやさしい光となり、次の世代へとつながっていくことを心より願っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

三重県立看護大学学長 吉沢 豊子



卒業生を追う Vol.8

分部 和代 短大1看10期

私は卒業後、県立総合塩浜病院（現在の総合医療センター）に就職しました。結婚を機に県立高茶屋病院（現こころの医療センター）に転勤し、アルコール依存症治療病棟に一番長く勤務しています。アルコール依存症の治療は薬物療法だけではなく、集団での教育や行動療法的関わりが行動変容（減酒や断酒）に繋がるため、難しさもありますが、やり甲斐もあり、私にとっては精神科看護の中で一番好きな分野です。当院は、県よりアルコール依存症治療拠点機関に指定されており、院内でのアルコール依存症治療に留まらず、アルコール依存症患者に関わる様々な職種への人材育成や県民へのアルコール依存症や適正飲酒に関する啓発活動を行っています。2年前には夢緑祭で適正飲酒の啓発のために出展をさせていただきました。啓発活動やお酒の問題に関心のある方は、当院へご一報ください。病院としては様々なテーマでの講演依頼（しっとこセミナー）も受けております。

講演会への参加は、1年に1回の友人との貴重な再会の場として活用しています。皆さんも講演会を、そのように活用してみたいはいかがでしょうか。

佐藤 規子 短大1看13期

私は看護管理者として、看護部全体の運営管理を担い、安全で質の高い看護を提供するための体制づくり、人材育成、職場環境の調整など、組織全体を支える看護管理を実践しています。

これまで同窓会主催の講演会に参加し、さまざまな学びを得てきました。大野裕先生の「認知行動療法」の講演では、心の整え方や思考との向き合い方について理解が深まり、現在は新人看護師の支援に活かしています。悩みを抱えながら成長していく新人に寄り添う際、講演で得た視点が大きな助けとなっています。また、笠井アナウンサーによるがんに関する講演では、患者さんの立場から医療者に寄せられる期待や思いを伺い、看護の本質を改めて見つめ直す貴重な機会となりました。現場で求められる専門知識だけでなく、看護の原点を思い起こさせてくれる場があることは、卒業後も続く大きな支えです。多忙な日々の中で立ち止まり、自分の看護観を振り返る機会は貴重ですが、同窓会の活動はそのきっかけを与えてくれます。皆様もぜひ、懐かしい仲間と再びつながりながら、新たな学びや明日への活力を得てみてはいかがでしょうか。

米川 さや香 大学8期

早いもので、本学を卒業して18年が経ちました。卒業後は県内の総合病院に就職しましたが、3人の出産・育児を経て、母親としての自身の働き方について考えるようになりました。そんな時、ご縁あって本学の教員（パート）として、学生の実習指導に携わる機会がありました。患者さんと一生懸命に向き合いながら成長する学生の姿に自身の学生時代を重ね、「あの時、先生たちはこんな思いで支えてくれたんだ」と、改めて感謝の気持ちとお世話になった先生方の顔が浮かんだことを覚えています。

現在は、本学の基礎看護学の助教として勤務しています。当時お世話になった先生方と共に、学生を送り出すことになろうとは想像もしていませんでした。また、同窓会総会や講演会への参加を通して、本学を離れられた先生方との再会も果たせました。どちらも大変嬉しく思います。地元の大阪を離れ、たった一人でこの三重県立看護大学にきた日から、気がつけば三重の地にすっかり馴染んでいる今日まで、たくさんの方々から暖かく支えられ、今の自分があります。私は本当に、周囲の方々に恵まれました。これからも新しい出会いを大切にしながら、周囲への感謝を忘れず、楽しんで成長していきたいと思っております。

総会報告

令和7年10月25日（土）対面及びオンラインにて同窓会本部総会を開催しました。総会では、令和6年度の本部活動報告、決算報告、令和7年度の予算案、会則の改正等についての検討・決議が行われました。



2025年度 活動報告

令和7年4月12日	本部役員会
6月21日	本部役員会
9月27日	本部役員会
10月25日	令和7年度三重県立看護大学同窓会本部定期総会 三重県立看護大学同窓会令和7年度講演会
12月8日	三重県立看護大学修学支援基金へ寄付
令和8年1月30日	卒業生へ同窓会加入案内クリアファイル寄贈
2月28日	本部役員会
3月9日	地域交流センターとの打合せ
3月21日	令和6年度卒業証書・学位授与式出席